

ＩＴコーディネータ（ＩＴＣ）

実践力教材・研修コース
認定ガイドライン

申請フォーマット

Ver.2.9

**２０１８年１２月１日**

**特定非営利活動法人　ＩＴコーディネータ協会**

 **認定申請書フォーマット**

|  |
| --- |
| 申請内容 |
| 申請内容 | □認定研修機関、□認定研修コース、□認定教材・書籍申請、□認定定期刊行物 |
| 申請日 |  | 受付日 |  |
| 認定番号 |  | 認定日 |  |
| フリガナ |  |
| 貴団体名 |  |
| 貴団体住所 | 〒 |
| 申請責任者 | 印　 | 所属・役職 |  |
| 電話 |  | Fax |  | Email |  |
| 担当者 |  | 所属・役職 |  |
| 電話 |  | Fax |  | Email |  |
| ＩＴコーディネータ協会会員 | □正会員　□協賛会員□未加入　□加入（会員No.：　　　　　　　　　　　） |
| 貴団体のURL |  |
| 認定種類 | □初回認定　□更新認定　□改訂認定　□追加認定 |
| 媒体区分 | □ペーパー □ビデオ □CDROM・DVD □Webコンテンツ □その他（　　 　　） |
| **申請対象の名称** |
| **認定研修コース** |
| 研修コース名 |  |
| （申請者の研修コースコード） |  |
| 研修教材名 |  |
| テキスト総ページ数 |  |
| **認定書籍** |
| 教材・書籍 |  |
| テキスト総ページ数　 |  |
| **認定刊行物** |
| 申請刊行物名 |  |
| 創刊日 |  |
| 発売日 |  |
| 発行部数 |  |

|  |
| --- |
| **教材・書籍について** |
| 開発目的 | □市販用　□研修用 |
| ＩＳＢＮ |  |
| 定価 | 　　　　　　　　　　　　円（消費税別） | 発行時期 |  |
| 発行部数 |  | 発行元 |  |
| 著者・監修者 | □ＩＴコーディネータ、□協会会員 |
| 備考 |  |

 **研修コース申請の場合の追加資料**

| 研修コース内容　\*当該研修コースに直接関わるものだけを記入します。 |
| --- |
| 研修コース概要 |  |
| 研修レベル対象者 | **該当のＩＴＣのレベルに○**国（IPA）の共通キャリア・スキルフレームワーク（ITSS、UISS）のレベルでお考えください。ITコーディネータ協会の実践力体系ではレベル5が共通キャリア・スキルフレームワークのレベル7に該当し、レベル1が共通キャリア・スキルフレームワークのレベル3に該当します。※ITスキル標準V3https://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/download\_V3\_2011.html |
| 研修日数 |  |
| 研修時間 |  |
| 研修プログラム（シラバス）※別紙でも可 |  |
| 使用教材(含む補助教材) | ＊使用する教材の名称、教材認定No. （教材と同時申請の場合は“同時申請中”、補助教材は“補助教材”）を記入します。 |
|  |
| 研修方式 | □集合研修　□通信教育　□ＷＢＴ　□映像教育□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 学習方法 | □講義　□グループ討議　□ロールプレイング　□教育ゲーム□ケーススタディ　□通信教育　□ＷＢＴ　□映像　□テスト□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| （特記事項） |
|  |
| 修了確認の方法 | 出席率、自己診断チェック、チェックテスト、多肢選択式テスト、宿題評価、論文評価等 |
|  |
| インストラクターの資格要件 | ＩＴコーディネータ、ＩＴコーディネータ協会会員は特記するその他のインストラクターは専門領域、資格等が分かること |
|  |
| 備考 |  |

**「ＩＴコーディネータ実践力体系」との対応：　（該当項目を○で囲む）**

| **区分** | **大項目** | **中項目** | **小項目** |
| --- | --- | --- | --- |
| 1. １ 実践知　　（ＩＴ経営実現の能力＝　いわゆる実践能力）
 | **1.1. 意識知** | 1.1.1. 自己意識 | 自己実現、信念、情熱、夢、志 |
| 1.1.2. プロ意識 | 顧客志向、価値観、中立性、倫理観 |
| 1.1.3. 資質、適性に合わせる意識 | 前向き、責任感、論理性、創造性、秩序性 |
| 1.1.4. 協創意識 | 協働性、対等性、協調性、指導性、共感 |
| **1.2. 行動知** | 1.2.1. 人間関係を構築する能力 | 現場の立場・相手の立場理解力、経営者の立場理解力、人的ネットワーク構築力、対人識別力、傾聴力、自己ＰＲ力  |
| 1.2.2. 分析評価する能力 | 環境観察力、情報収集力、知見整理力、現状評価力、ニーズ収集力、課題抽出力、仮説提案力、見積・計画力 |
| 1.2.3. 合意形成する能力 | リーダーシップ力、プレゼンテーション力、ネゴシエーション力、ファシリテーション力、チームビルディング力、モチベーション力、契約力 |
| 1.2.4. プロセスを改善・改革する能力 | ＳＰＤＬＩ実行力、ＰＤＣＡ実行力、ＰＤＳ実行力 |
| 1.2.5. ＩＴＣコンテンツを活用する能力 | 事例活用力、ＩＴＣ手法・ツール活用力、ＩＴＣ知的資産活用力、レファレンス活用力、ＩＴＣ制度活用力、人的ネットワーク活用力 |
| **1.3. 専門知** | 1.3.1. ＩＴ経営の基本原則に関する能力 | 社会視点、顧客視点、戦略視点、成熟度視点、プロセス視点、客観視点、実現視点 |
| 1.3.2. ＩＴ経営認識プロセスに関する能力 | 変革認識、是正認識、継続的成長認識 |
| 1.3.3. ＩＴ経営実現プロセスに関する能力 | 経営戦略フェーズ、ＩＴ戦略策定フェーズ、ＩＴ資源調達フェーズ、ＩＴ導入フェーズ、ＩＴサービス活用フェーズ |
| 1.3.4. ＩＴ経営共通プロセスに関する能力 | プロセス＆プロジェクトマネジメント、モニタリング＆コントロール、コミュニケーション |
| 1.3.5. ＩＴＣコンテンツの活用に関する能力 | 事例、ＩＴＣ手法・ツール、ＩＴＣ知的資産、レファレンス、ＩＴＣ制度、人的ネットワーク |
| ２ 知識 （ＩＴ経営実現に　必要な知識） | **2.1. 専門知識** | 2.1.1. ＩＴ経営の基本原則の知識 | 社会視点、顧客視点、戦略視点、成熟度視点、プロセス視点、客観視点、実現視点 |
| 2.1.2. ＩＴ経営認識プロセスの知識 | 変革認識、是正認識、継続的成長認識 |
| 2.1.3. ＩＴ経営実現プロセスの知識 | 経営戦略フェーズ、ＩＴ戦略策定フェーズ、ＩＴ資源調達フェーズ、ＩＴ導入フェーズ、ＩＴサービス活用フェーズ |
| 2.1.4. ＩＴ経営共通プロセスの知識 | プロセス＆プロジェクトマネジメント、モニタリング＆コントロール、コミュニケーション |
| 2.1.5. ＩＴＣコンテンツの活用知識 | 事例、ＩＴＣ手法・ツール、ＩＴＣ知的資産、レファレンス、ＩＴＣ制度、人的ネットワーク |
| **2.2. 前提知識** | 2.2.1. レファレンスの知識 | 経営系とIT系のレファレンスの知識（例：JQA、SWOT、BSC、CMMI、EA、BABOK、SLCP、SWEBOK、ITIL、PMBOK、COSO、COBITなど） |
| 2.2.2. ＩＴ系の専門分野の知識 | ITCに求められるIT系の専門分野の知識（例：ITストラテジストに求められる知識） |
| 2.2.3. 経営系の専門分野の知識 | ITCに求められる経営系の専門分野の知識（例：経営品質協議会認定セルフアセッサーや中小診断士に求められる知識） |
| **2.3. 基礎知識** | 2.3.1. ＩＴリテラシー | ITリテラシーに関する知識（例：ITパスポートに求められる知識） |
| 2.3.2. ビジネス知識 | 企業、組織、業種・業務、財務、法制度等に関する知識 |
| 2.3.3. ビジネスマナー | ビジネスマナーに関する知識 |
| **（参考）** | （参考1：専門知識(2.1)の知識項目例） | （ＩＴＣ専門知識(2.1)の知識項目例：専門知識(2.1.1)～専門知識(2.1.4)のまとめ） |

注1）ITC＝ITコーディネータの略称

## 研修コース、教材・書籍認定の判断基準となる資料（参考）

ＩＴコーディネータ実践力体系の概要（中項目レベル）

詳細は、「ＩＴコーディネータ実践力ガイドライン」を参照のこと。

| **区分** | **大項目** | **中項目** | **中項目の概要** |
| --- | --- | --- | --- |
| **実践知**（ＩＴ経営実現の能力＝ いわゆる実践能力） | **意識知**（ＩＴＣとしての意識）  | 自己意識 | IT経営の確立による企業競争力の強化について、経営者から共感を得ることができる能力 |
| プロ意識  | 経営戦略の実現を通して経営者の信頼を得ることができる能力 |
| 資質、適性に合わせる意識 | ＩＴＣの活動を通じて個人の適性に合ったレベルアップ（研鑽）をしていくという志向を持つことができる能力 |
| 協創意識 | ステイクホルダー間の調整と満足（顧客満足含む）の協創ができる能力 |
| **行動知**（ＩＴＣとしての行動力）  | 人間関係を構築する能力 | ステイクホルダー間の利害調整をし、協力関係を構築できる能力 |
| 分析評価する能力 | 企業の現状を評価し課題を明確化し可視化することができる能力 |
| 合意形成する能力 | 課題の抽出・構造化、改善・改革に向けた合意形成ができる能力 |
| プロセスを改善・改革する能力 | 戦略に基づく計画的な行動とモニタリングにより改善、改革を行うことができる能力 |
| ＩＴＣコンテンツを活用する能力  | ＩＴＣの知的・人的資産の活用例を活かし、最適な解決策を取ることができる能力 |
| **専門知**（ＩＴＣとしての固有の専門的な実践能力）  | ＩＴ経営の基本原則に関する能力  | ＩＴ経営の基本原則に則った判断基準をもつことができる能力 |
| ＩＴ経営認識プロセスに関する能力 | ＩＴ経営に気づき、本質を理解し、判断することができる能力 |
| ＩＴ経営実現プロセスに関する能力  | ＩＴＣの役割に則ってＩＴ経営実現プロセスを実践することができる能力 |
| ＩＴ経営共通プロセスに関する能力  | ＩＴＣの役割に則ってＩＴ経営共通プロセスを実践することができる能力 |
| ＩＴＣコンテンツの活用に関する能力  | 事例、ＩＴＣ手法・ツール、ＩＴＣ知的資産、レファレンス、ＩＴＣ制度、人的ネットワークを活用する能力 |
| **知識**（ＩＴ経営実現に必要な知識）  | **専門知識**（ＩＴＣとしての固有の専門知識）  | ＩＴ経営の基本原則の知識  | ＩＴ経営を成功に導く判断基準（基本原則）の知識 |
| ＩＴ経営認識プロセスの知識 | ＩＴ経営認識プロセス（変革認識、是正、継続的成長フェーズ）の知識 |
| ＩＴ経営実現プロセスの知識 | 経営戦略からＩＴサービス活用フェーズまでのＩＴ経営実現プロセスの知識 |
| ＩＴ経営共通プロセスの知識 | ＩＴ経営に共通なプロセス＆プロジェクトマネジメント、モニタリング＆コントロール、コミュニケーションの知識 |
| ＩＴＣコンテンツの活用知識  | 事例、ＩＴＣ手法・ツール、ＩＴＣ知的資産、レファレンス、ＩＴＣ制度、人的ネットワークを活用するための知識 |
| **前提知識**（ＩＴＣに求められる専門分野の知識）  | レファレンスの知識 | 経営系とＩＴ系のレファレンスの知識（例：JQA、SWOT、BSC、CMMI、EA、BABOK、SLCP、SWEBOK、ITIL、PMBOK、COSO、COBITなど） |
| ＩＴ系の専門分野の知識 | ＩＴＣに求められるＩＴ系の専門分野の知識（例： ＩＴストラテジストに求められる知識） |
| 経営系の専門分野の知識 | ＩＴＣに求められる経営系の専門分野の知識（例： 経営品質協議会認定セルフアセッサーや中小企業診断士に求められる知識） |
| **基礎知識**（ビジネスに必要不可欠な一般知識）  | ＩＴリテラシー | ＩＴリテラシーに関する知識　（例： ＩＴパスポート試験に求められる知識） |
| ビジネス知識 | 企業、組織、業種・業務、財務、法制度等に関する知識 |
| ビジネスマナー | ビジネスマナーに関する知識 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|

|  |
| --- |
|  |

発行日：2018年12月1日発行者：〒103-0007東京都中央区日本橋浜町2-17-8　浜町平和ビル7階 TEL：03-3527-2177　　E-mail：ninnteisem@itc.or.jp特定非営利活動法人　ＩＴコーディネータ協会　　認定セミナー担当C

|  |
| --- |
| 　2018　特定非営利活動法人　ＩＴコーディネータ協会 |

 |